

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月28日

【評価実施概要】

事業所番号	872000948		
法人名	株式会社 キュート		
事業所名	グループホームたんぽぽ		
所在地	つくば市谷田部3 3 9 3-1 (電 話) 029-839-5214		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1 9 1 8 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年8月1日	評価確定日	平成20年1月16日

【情報提供票より】 (平成19年7月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	20 人	常勤 20人, 非常勤 人, 常勤換算 9.7 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての 1~3 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	450,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,050 円		

(4) 利用者の概要 (7月12日現在)

利用者人数	23 名	男性 10 名	女性 13 名
要介護1	8名	要介護2	6名
要介護3	7名	要介護4	2名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 79.3 歳	最低 61 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	つくば双愛病院
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの運営理念である「思いやりと笑顔」は開設時に運営者と職員全員が話し合い作成している。
 運営者は今までの経験やノウハウを活かし、利用者が慣れ親しんだ地域で、いつまでも健やかでその人らしい生活が送れるよう実践を通して、また、職員と話し合いながら取り組んでいる。
 職員は利用者一人ひとりの個性や生活歴を把握するとともに、自立を促しながら、その人らしく暮らせるよう笑顔を絶やさず支援している。
 また、食事は利用者の嗜好や栄養バランスを考慮した献立を立て、職員と利用者と一緒にホームの庭で取れた食材などを調理するとともに、準備や後片付けを行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営者と職員は前回の外部評価の結果をもとに、職員に運営理念の周知や玄関に鍵をかけない見守りの方法等検討及び研修受講後の報告の仕組みづくりなどの課題を改善している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者・職員は外部評価の結果について、改善や実践に向けた意見交換を行い、できることから1つずつ改善する方向で検討している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 初めての運営推進会議を開催し、会議ではこれまでの経過や自己評価の内容説明、サービスを提供するうえでの実情を報告している。 市の担当者とは、グループホーム連絡会などで連携し、高齢者に関する情報交換やサービスの質の向上に向けた相談をしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用者の状況を伝えるため、家族に電話をしているが、苦情等を聞くまでには至っていないので、家族が意見や希望、要望等を言える場を設けるとともに、ホームだより等を通して利用者の様子を伝えるなど、定期的な情報提供の機会づくりを期待する。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームヘルパー研修の受け入れや地区のリサイクル活動に参加するなど、地域とのつながりを持つよう努めているが、積極的に交流するには至っていないので、利用者の家族に協力を得ながら地域に根ざしたホームとなるよう地域の行事や学校行事などに参加するなど、地域と交流を図る取り組みを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者と職員が利用者を支援する際に大切にしている「思いやりや笑顔を忘れない、その人らしい生き方を大切にする」を理念に掲げている。 また、地域の人々との交流を深め、楽しく暮らせるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を額に入れてフロアに掲示するなど、利用者に周知を図るとともに、職員は毎朝唱和している。 また、理念をケアに反映させるよう職員間で意志統一を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームヘルパー研修の受け入れや地区のリサイクル活動に参加するなど、地域とのつながりを持つよう努めているが、積極的に交流するには至っていない。	○	利用者の家族に協力を得ながら、地域に根ざしたホームとなるよう地域の行事や学校行事などに参加するなど、地域と交流を図る取り組みを期待する。 また、ホームの理解や周知を深めるため、ホーム便りの発行を提案する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者と職員は前回の外部評価の結果をもとに、課題の改善や解決に関する意見交換を行い、できる課題から改善している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	初めての運営推進会議を開催し、会議ではこれまでの経過や自己評価の内容説明、サービスを提供するうえでの実情を報告している。	○	会議ではこれまでの評価結果を踏まえ、現在の取り組み状況を報告するとともに、参加メンバーからの質問、意見要望を受け、双方が協力し合う会議となることを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、グループホーム連絡会などで連携し、高齢者に関する情報交換やサービスの質の向上に向けた相談をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	請求書や金銭管理報告を定期的に郵送しているが、ホームでの生活の様子を知らせるまでには至っていない。	○	家族に利用者やホームへの関心を深めるため、ホームだより等を発行することを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の状況を伝えるため、家族に電話をしているが、苦情等を聞くまでには至っていない。 また、意見箱を設置しているが、訪問者も少なく活用するには至っていない。	○	家族が意見や希望、要望等を言える場を設けることを検討するとともに、ホームだより等を通して、利用者の様子を伝えるなど、定期的な情報提供の機会づくりを期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が3ユニット全ての利用者を全職員で支援することにより、離職した場合の利用者のダメージを抑える配慮をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は外部研修の受講や他の事業所との交流会に職員とともに、積極的に参加しているが、内部研修や研修受講後の体制づくりに取り組むまでには至っていない。	○	外部研修ばかりでなく、事業所内でも勉強会を開催するなど、ホームのケアの質の向上を図る取り組みを期待する。 また、研修受講者が研修報告書を作成し、参加できない職員に伝達する体制づくりを提案する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、他の事業所との意見交換やホームを訪問している。 また、グループホーム協議会が企画する研修会に参加し、勉強する機会を得ることにより職員の質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用を希望する方には、職員が自宅を訪問したり、ホームを訪問してもらう機会をつくるなど、徐々に馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は料理や野菜作りなど、利用者が得意なことを把握するとともに、日常の家事や野菜作りの指導を受けるなど、支えあいながら生活している。	○	男性の利用者にもできることや得意とすることが発揮できる場面づくりを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者全員と毎日5分以上会話するよう心がけており、その際に聞いたことや意向について記録を残し、職員間で情報を共有している。 また、利用者の言葉や表情、行動やしぐさで意向や希望を確認している。	○	職員間で把握している情報をケアの統一や向上に活かすことを期待する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう本人や家族の意向を聞き、職員の意見、情報をふまえて介護計画を作成しているが、利用者全てに対応するには至っていない。	○	家族の都合により相談、説明ができない場合は、電話での連絡や介護計画を郵送するなどにより、意見や要望を聴取することを期待する。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にカンファレンスを行い、必要に応じて計画の見直しを行っているが、介護計画に明示するには至っていない。	○	介護計画の期間設定を短くするとともに、変化に伴う見直しなどを介護計画書に明記することを提案する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の病院診察時の通院支援や利用者の状態が重度化した場合の対応など、利用者や家族が安心してホームで暮らせるよう柔軟な支援を心がけている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関のほか、利用者のかかりつけ医に受診できるなど、希望に応じた支援をしている。 また、受診の際に職員が通院支援を行うとともに、身体状況や注意点、薬の飲み方などの説明を受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の終末期の有り方について、職員間の話し合いにより対応方針は決めているが、職員全員で方針を共有するまでには至っていない。	○	利用者が重度化した場合や終末期の対応等について、職員に周知を図るとともに、本人や家族等に説明、意向を確認することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声かけや誘導などは、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように目立たず、さり気ない支援をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所としての基本的な一日の流れはあるが、本人の希望や体調を確認しながら、庭いじりや小動物の世話、散歩など、一人ひとりの状態や思いに配慮した支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒にホームの庭で取れた野菜の調理や盛りつけ、食後の後片付けを行っている。 また、同じテーブルで会話しながら食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日、時間帯は決まっているが、入浴日には利用者の希望を確認しながら、本人のペースに合わせて入浴支援を行っている。	○	入浴は利用者の習慣や希望を配慮するとともに、利用者一人ひとりの状況に応じた入浴支援の検討を期待する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事づくり、掃除、小動物の世話など、利用者の経験や得意なことを把握し、力量に応じた役割や場面づくりを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、利用者の体調や気分に合わせて、散歩や庭での野菜づくり、買い物やドライブなどの外出支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けない方針とし、利用者の外出を察知した職員は、止めることなくそばに付き添うなど、利用者が安全で自由な暮らしを支える支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は1年に1度実施しているが、地域の人々とともに、訓練を実施するなどの働きかけには至っていない。	○	今後、自身や災害等が起こった時は、地域の方々に避難等の協力を得られるよう、自治会や運営推進会議等で働きかけるとともに、一緒に訓練することができるよう取り組むことを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は食材や栄養バランス、利用者の嗜好を取り入れた献立を職員が交代で立てている。 利用者一人ひとりの食事の摂取量をチェック表に記録している。	○	栄養バランスや摂取カロリー等について、カロリー計算するまでには至っていないので、専門の管理栄養士に献立のチェックをしてもらうことを提案する。 また、水分摂取量を把握するため、チェック表の作成を期待する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いスペースのリビングに家庭的で立派な食卓や椅子などを設置している。 職員間で話し合い、荷物等が入り移動式の畳を作成し、リビングの壁面に設置している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が安心してゆったりと生活が送れるよう写真や仏壇などの日用品を持ち込んでいる。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。